

浸水被害低減効果一覧

令和6年 8月28日～9月2日 台風10号

下水道施設名	行政区	排水方式	施設容量 (m ³)	貯留量 (m ³)	貯留率 (%)
① 新羽末広幹線	港北～鶴見	ポンプ排水	410,000	43,000	10.5%
② 小机千若雨水幹線	緑～神奈川	ポンプ排水	256,000	322,000	125.8%
③ 新羽調整池	港北	ポンプ排水	89,000	14,000	15.7%
⑥ 蒔田雨水調整池	南		22,000	3,230	14.7%
⑦ 江川雨水調整池	都筑		17,000	8,310	48.9%
⑧ たちばなの丘雨水調整池	旭		7,000	3,140	44.9%
⑨ 金井雨水調整池	栄		6,000	3,730	62.2%
⑩ 長津田地区東雨水調整池	緑		54,000	27,470	50.9%
⑪ 長津田地区西雨水調整池	緑		19,000	5,390	28.4%
⑫ 相沢雨水調整池	瀬谷		56,000	28,520	50.9%
⑬ 北綱島第二雨水幹線	港北		72,000	6,190	8.6%
⑭ 獅子ヶ谷雨水幹線	鶴見		6,500	20	0.3%
⑮ 戸部雨水幹線	西		11,000	5,140	46.7%
⑰ 初音雨水幹線	南		7,500	2,620	34.9%
⑱ 初音雨水支線	南		2,700	2,090	77.4%
⑲ 下倉田第二幹線	戸塚		8,200	3,535	43.1%
⑳ 東希望ヶ丘雨水幹線	旭		40,000	660	1.7%
㉑ 南希望ヶ丘雨水幹線	旭		8,000	230	2.9%
㉒ 二俣川1号雨水幹線	旭		13,000	210	1.6%
合 計			1,104,900	479,485	—

河川施設名	行政区	排水方式	施設容量 (m ³)	貯留量 (m ³)	貯留率 (%)
① 鳥山川遊水地	神奈川	ポンプ排水	44,000	2,240	5%
③ 今井川地下調節池	保土ヶ谷	ポンプ排水	178,000	12,345	7%
④ 舞岡川遊水地	戸塚	ポンプ排水	55,200	8,562	16%
⑤ 宇田川遊水地 (1回目貯留量)	戸塚	ポンプ排水	65,000	43,670	67%
				4,640	7%
⑥ 和泉遊水地	泉		126,000	11,000	9%
⑦ 宮沢遊水地	瀬谷		48,650	22,000	45%
⑨ 名瀬川遊水地	戸塚		29,400	4,000	14%
合 計			546,250	108,457	—

総 計			1,651,150	587,942	—
-----	--	--	-----------	---------	---

25mプールで換算：**1,568** 杯分を貯留

※25mプール容量イメージ：幅15m×深さ1m×長さ25m=375m³

- 1 ポンプ排水方式の下水道施設については、最下流のポンプ施設による吐出量を集計した値を記載しています。
また、ポンプ排水を行いながら貯留しているため、貯留容量を超える値になる場合があります。
ポンプ排水方式の河川施設については、対象期間内に排水作業を実施し、複数回貯留した場合は、行を分けて記載します。
- 2 その他の排水方式については、ピーク水位の計測結果から算出した貯留量を記載しています。
※上記1、2の算出方法による値のため、浸水被害低減量は参考値です。
- 3 貯留実績があった施設のみ貯留量を記載しています。